

Release Notes

NITRO-SDK

2006/8/28

任天堂株式会社

Version: NitroSDK-3.2

本パッケージについて

本パッケージはニンテンドーDS（開発コード NITRO）のアプリケーションを開発するための基本ライブラリセットです。NITRO のアプリケーションの開発効率を高めるためにさまざまな API が用意されて、ハードウェアレジスタを抽象化し、視認性の高いソースコードを作成するお手伝いをいたします。またメモリや割り込みなどのシステムリソース管理の標準的な機構をご提供いたします。

パッケージに含まれるもの

- NITRO-SDK ライブラリ（グラフィックス・OSシステム サブプロセッサ用コンポーネント etc）
- オンライン版関数リファレンスマニュアル
- NITRO機能別デモプログラム
- 開発ターゲットの切り替えを統合したmakeシステム

変更点について

NITRO-SDK 3.2 までにリリースされた個々のパッケージでの変更点については、オンライン関数リファレンスマニュアル中の「NITRO-SDK 3.2までの変更履歴」の頁をご参照ください。

主だった変更箇所は以下の通りです。

- CARD ライブラリで、カード抜けに関するいくつかの不具合があり、これらを修正しました。
- CTRDG ライブラリで、カートリッジの活線挿抜に関する不具合があり、これを修正しました。
- CP ライブラリで、除算器に関する不具合修正、リファレンスへの注意事項の追加を行いました。
- STD ライブラリで、STD_CopyLString 関数の仕様を変更しました。この変更に伴い関数の返り値の型が変更されていますのでご注意ください。
- STD ライブラリに ShiftJIS と Unicode の文字列の変換を行う関数を追加しました。
- PM ライブラリで、カード抜け発生時のシャットダウン処理に関する不具合があり、これを修正しました。
- PM ライブラリで、スリープ復帰に関する不具合があり、これを修正しました。
- WM ライブラリで Wii との通信におけるリンクレベル値を調整しました。
- CodeWarrior 2.x 以降において、リンク処理を行う際、シンボルの検索対象となるオーバーレイグループを指定できるようになり、この機能をサポートするために lsf ファイルの書式を拡張し、SearchSymbol コマンドをサポートしました。詳細は makelcf のマニュアルをご参照ください。また、この変更を以て、CodeWarrior 2.0 に正式対応しました。
- 1Gbit/2Gbit ROM サポートによって一部 ROM フォーマットが変更されました。以前のフォーマットで ROM イメージを出力したい場合は makerom のオプションに -V1 を入れてください。
- その他、既存の各ライブラリに修正および機能追加を行いました。